

事後評価シート

県土整備部

番号	事業名 箇所名	市町村名	事業概要	事業期間			事業費 (百万円)	対象 理由	担当課
				着手	※1 再評価	完成			
9	河川事業 大淀川（高岡）	宮崎市高 岡町	延長 L=7,700m (大淀川 6,500m、支川 1,200m) 宅地嵩上、輪中堤、樋門等	H22	-	(H28線) H29	2,468	①	河川課

事後評価の結果 ※2

【事業の目的】

大淀川の高岡地区は、平成17年9月の台風14号の豪雨で床上86戸、床下8戸の甚大な浸水被害が発生した。また、県内交通の大動脈である国道10号も浸水し、一時的に通行が途絶するなど、県内の主要な交通網への影響、住民の生活にも支障を来したところである。

このため、高岡地区において、輪中堤や宅地嵩上げ、樋門の整備を行い、地域住民が安心して生活できるよう治水安全度の向上を図ることを目的としている。

【事業効果の発現状況】

事業完了後、平成17年規模の降雨は発生していないが、家屋等の浸水被害はなく、事業効果は発現できている。

また、ハード対策と合わせ、ソフト対策として浸水するおそれのある区域に、家屋の建築を制限する災害危険区域を指定したことで、浸水区域内に新たな家屋は建築されていない。

(参考)

○主な異常気象による降雨

平成17年台風14号	総雨量：1082mm	24時間雨量：661mm	(唐崎)
平成28年台風16号	総雨量：319mm	24時間雨量：318mm	(唐崎)
平成29年台風18号	総雨量：358mm	24時間雨量：191mm	(唐崎)
平成30年台風24号	総雨量：390mm	24時間雨量：375mm	(唐崎)
令和2年梅雨前線豪雨	総雨量：556mm	24時間雨量：276mm	(唐崎)

【事業による環境の変化や環境保全】

輪中堤及び宅地嵩上げ方式が大部分を占め、河道内の改修が少ないことから、現況の景観や水辺環境を保全しているため、河川環境に大きな影響は与えていない。

【施設の維持管理状況】

宅地嵩上げ後の施設は、所有者に引き渡しを行っており、所有者から引き渡した施設に変状が生じている等の報告はない。

また、定期的に護岸等の施設について、点検を実施しており、異常は認められておらず、良好な状態であり、適切に維持管理されている。

【今後の事業評価の必要性】

事業実施後4年が経過し、家屋の浸水被害はなく、事業効果が確認できたことから、事業評価の必要性はないと考えられる。

【改善措置の必要性】

施設の変状等が確認されておらず、家屋の浸水被害また環境への負荷も小さいことから、改善措置の必要性はないと考えられる。

【同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性】

想定規模以上の浸水被害に備え、早期避難に関する住民への意識付け、救急体制づくり等、事業着手時から市町と一体となったソフト対策に取り組んでいくことが望ましいと考えられる。

総合評価	特記事項
事業効果が認められる。	特になし。

(対象理由)

- ①全体事業費が基準額以上であり、かつ事業完了後一定期間が経過した事業
- ②再度、事後評価の必要があると判断した事業

※1 再評価の実施年度については、直近のものを記載すること。

※2 事後評価の際には、出来る限り客観的な数値を記載すること。